

臨床研究と脳科学の融合： 脳オルガノイドと疾患研究

講師：齋藤伸治 教授

名古屋市立大学 大学院医学研究科
新生児・小児医学分野

日時：2024年12月16日（月）17:00～

場所：名古屋市立大学桜山キャンパス
医学部研究棟11階 講義室B

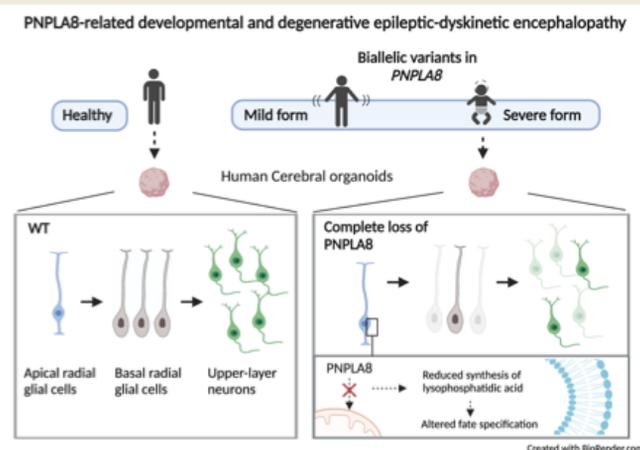
本セミナーはZOOMによるオンライン配信も致します。オンラインでの参加は下記URL又はQRコードからログインしてください。

URL：<https://us06web.zoom.us/j/88084230645>

ミーティング ID: 880 8423 0645 パスコード: 20241216



遺伝性小児神経疾患は発達遅滞やてんかんを主要な症状とし、根本的な治療法は存在しない。遺伝子変異が原因の場合、脳発生における精緻に制御される遺伝子プログラムの障害となり、症状を規定する。そのため、患者にみられる表現型を通して原因遺伝子の脳形成における役割を知ることができる。私たちは、様々な先天性遺伝性神経疾患の原因遺伝子の同定とその発生における意義をモデル動物や脳オルガノイドを駆使して追求し、最終的には治療法の開発を目指している。その一例として、本セミナーでは脂質分解酵素の



一つをコードするPNPLA8変異が引き起こす神経疾患と、脳オルガノイド研究が解き明かしたPNPLA8の神経発生における役割を解説する。

(Nakamura et al. Brain 147:3949-3967, 2024)

世話人：山川和弘（医学研究科・神経発達症遺伝学分野）

TEL: 052-851-5612, E-mail: yamakawa@med.nagoya-cu.ac.jp